

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第6期(決算日:2017年10月25日)

作成対象期間(2016年10月26日～2017年10月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2017年10月25日に第6期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第6期末(2017年10月25日)

基準価額	13,430円
純資産総額	1,984百万円
第6期	
騰落率	32.1%
分配金(税込み)合計	700円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00～17:00

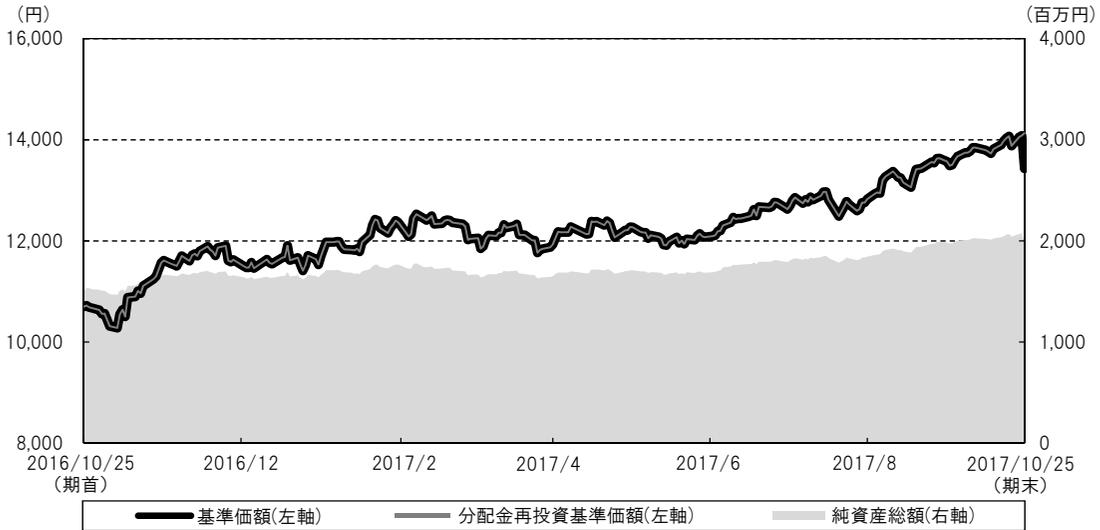
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2016年10月26日～2017年10月25日)



期 首：10,700 円
 期 末：13,430 円 (既払分配金(税込み):700 円)
 騰 落 率： 32.1 % (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
 (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2016年10月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、中国の景気減速懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行など

1 万口当たりの費用明細

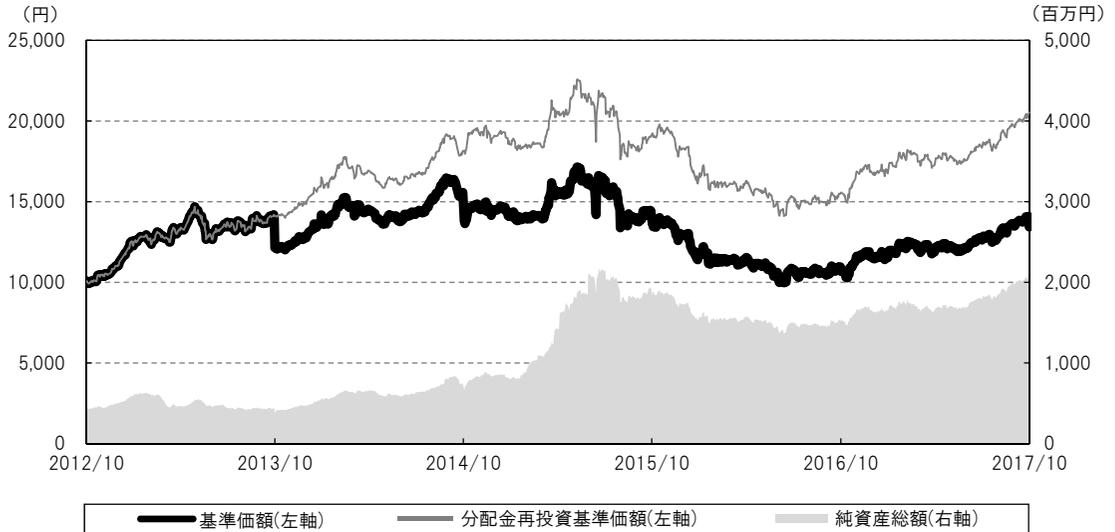
(2016年10月26日～2017年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 176	% 1.447	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(79)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(92)	(0.756)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.115	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(3)	(0.028)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	(11)	(0.087)	開示資料等の作成・印刷費用等
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	190	1.562	
期中の平均基準価額は12,170円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」
に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年10月25日～2017年10月25日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2012年10月25日 決算日	2013年10月25日 決算日	2014年10月27日 決算日	2015年10月26日 決算日	2016年10月25日 決算日	2017年10月25日 決算日
基準価額 (円)	10,041	12,141	13,801	13,611	10,700	13,430
期間分配金合計(税込み) (円)	200	2,000	1,800	1,000	300	700
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	2.4	40.8	28.5	5.9	△19.2	32.1
純資産総額 (百万円)	440	380	662	1,834	1,506	1,984

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2016年10月26日～2017年10月25日)

※以下の内容は、「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラスJ受益証券」(以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。)のファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBI アセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2016年10月から2017年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境(株式市場・外国為替市場)

当期のアジア株式市場は、再び活性化する展開となりました。先進国市場の堅調な経済成長や中国の予想を上回る各種経済指標を背景に、株式市場は上昇しました。しかしながら、アジア市場の堅調なパフォーマンスは、中国市場が最も高い収益率を上げるなど、主要市場に限定される格好となりました。堅調な企業収益に加えて、好調な経済指標により、中国市場は上昇基調が続きました。中国市場では、株価の上昇が際立ったテクノロジー関連セクターに加えて、不動産、自動車などのセクターにおいても、幅広い銘柄の株価が上昇しました。また中国市場以外にも、テクノロジー関連企業の比重が高い韓国市場や、高額紙幣廃止の混乱から反発に転じたインド市場にも、投資家の焦点が当てられました。その他のアジア市場の収益率は、中国、韓国、インド市場に後れを取る形となりました。

投資家がアジア域内の主要な株式市場に注目していたことから、アジア・フロンティア株式市場は、当期の大半の期間で、こうした主要市場の収益率を下回る結果となりました。当期末にかけては、アジア・フロンティア市場への資金回帰がみられました。アジア・フロンティア市場の通貨は、総じて対ドルで下落しました。

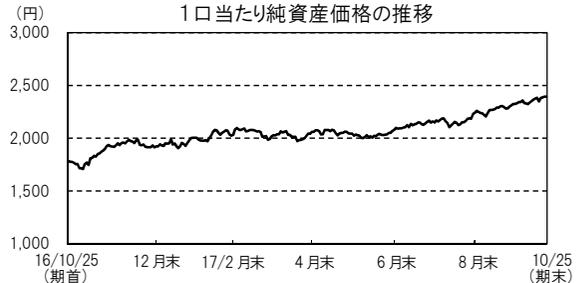
個別で見ると、銅や石炭などのコモディティ価格の回復がカザフスタン市場やモンゴル市場などコモディティ主導の市場の収益率を大きく押し上げました。特にカザフスタン市場は、当期にドルベースで+38%超上昇した堅調な銅相場と歩調を合わせて上昇しました。通貨カザフスタン・テングは、当期の変動率が約10%と高くなったものの、前期末比ではほぼ横ばいで取引を終えました。また、コモディティ相場の上昇のほか、カザフスタンでは2大銀行の1つであるハリク銀行がカズコムツ銀行を買収するなど、銀行セクターの再編が挙げられます。

モンゴル市場は、石炭価格の堅調推移や国際通貨基金(IMF)からの救済プラン受け入れ後に経済が安定したことにより、上昇しました。新たに選出されたバートルが大統領は、リーダーシップを発揮し、投資家の信頼を再び取り戻しました。通貨モンゴル・トゥグルグは、昨年に比べれば対ドルでの下落は緩やかになりましたが、同国の債務格付け引き下げ後は急落に見舞われました。

バングラデシュ市場も上昇したものの、大半は当期前半の上昇によるものでした。この上昇の大部分は、2017年5月に開催された中国の一路政策フォーラム後の市場心理の好転に起因するものです。通貨バングラデシュ・タカは対ドルで緩やかに下落しました。

スリランカ市場は、同国政府が歳入増加策を継続したことから、引き続きアジア・フロンティア5カ国の中では精彩を欠く市場となりました。また、スリランカにおいては、投資家にとっては障害となる政策転換もみられました。政

ハーベストAFエクイティファンド
1口当たり純資産価格の推移



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア 株式ファンド」の基準価額に反映されます。

府は28%の株式取引税の増税案を提出したことから、株式市場はネガティブな反応を示しました。なお、その後スリランカ市場が急落に見舞われたことから、政府は株式取引税の法案を進めない方針を示しました。

ベトナム市場は、当期前半は緩やかに推移し、後半にかけて上昇しました。ベトナム企業の新規株式公開(IPO)が相次ぎ、海外投資家が関心を寄せたことから、ベトナム市場は資本流入急増の恩恵を受けました。通貨ベトナム・ドンは、アジア・フロンティア 5 カ国の通貨の中では最も安定的に推移し、対ドルで 1-2%の比較的狭いレンジで取引されました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年10月26日～2017年10月25日)

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第6期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託(円建て)「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組入れています。当期の基準価額(分配金込み)は+32.1%の上昇となりました。

以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオについてです。

※ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

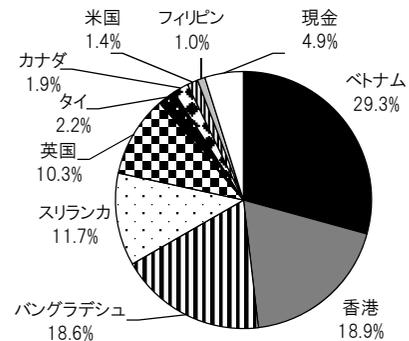
当期のハーベスト AF エクイティファンドは、絶対収益ベースでは堅調なパフォーマンスを上げ、+40%超のリターンを記録しました。銘柄選択効果はファンド収益に大きくプラス寄与し、ベトナムやカザフスタン銘柄は好パフォーマンスを上げました。

ベトナム銘柄に関しては、旅客数や外国人観光客数が増加したことから、ベトジェットエアやベトナム空港総社などの航空セクターの保有銘柄が堅調な収益率を上げました。カザフスタン銘柄に関しては、銅相場の回復に伴い、保有銘柄のKAZミネラルズの株価が大きく上昇しました。

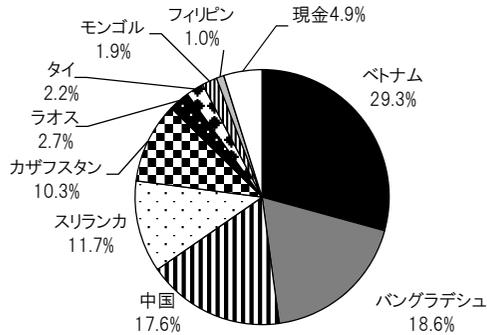
中国やフィリピンなど参考指数に含まれないアジア域内のフロンティア関連株も、ファンド収益にプラスに寄与しました。これらの国々の銘柄としては、スマートフォンの部品製造業者などが好パフォーマンスを上げました。スマートフォンの普及はアジア・フロンティア市場にも広がり始めており、長期的にみれば、アジア・フロンティア諸国の消費者が切望する商品になると私どもは考えています。

当期は株式市場が堅調に推移したため、流動性などの取引環境も大きく改善しました。また、ベトナム等の市場を通じて数多くのIPOや株式市場の自由化がみられました。アジア・フロンティア市場においても、取引環境が改善しつつある好ましい兆候がみられていると私どもは考えています。

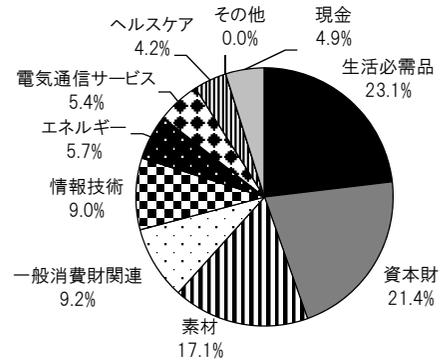
投資市場別構成比率(2017年9月末現在)



投資対象国・地域別構成比率(2017年9月末現在)



セクター別構成比率(2017年9月末現在)



組入上位5銘柄(2017年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトナムデリー	ベトナム	生活必需品	8.2%
ベトジェットエア	ベトナム	資本財	8.0%
KAZ ミネラルズ	カザフスタン	素材	7.8%
ベトナム空港総公社	ベトナム	資本財	6.3%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	4.9%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年10月26日～2017年10月25日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

分配金

(2016年10月26日～2017年10月25日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額(配当等収益額から経費等を控除)を算出し、基準価額の水準などを考慮した結果、1万口当たり700円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 6 期
	2016年10月26日～ 2017年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	700 4.954%
当期の収益	700
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,429

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社和訳・編集したものです。

世界経済の成長を背景とした資本流入により、比較的規模の大きい北アジア市場は堅調なパフォーマンスを上げ、東南アジア市場やアジア・フロンティア市場など比較的規模の小さい市場の収益率を上回りました。投資家からの資本流入は、通常東南アジア市場やアジア・フロンティア市場に流入する前に、より規模の大きな市場に直接流入する傾向があるとみています。

したがって、比較的小規模な市場は 2018 年には世界経済の成長の恩恵を受け始めることから、現在はこれらの市場の銘柄を組入れる絶好の機会ではないかと考えています。2017 年は中国市場が大きく上昇し、多くの投資家を驚かせましたが、中国経済が堅調な伸びをみせて安定していることもあり、2018 年は中国の成長が予想以上に加速し、アジア・フロンティア市場がその恩恵を受けるとみています。

中国の一帶一路政策により加速する製造業、インフラ、消費、観光といった構造的な長期投資テーマは、引き続き変わっておりません。アジア・フロンティア市場は、短期的には域内の経済指標や企業収益の改善に下支えされ、上昇相場が続くでしょう。長引く北朝鮮問題の先行き不透明感は依然として懸念されますが、アジア全域では総じて政治環境の安定がみられており、こうした政情の安定化により、中期的には引き続き投資マネーが集まるでしょう。世界経済の回復を背景に、相対的に割安で出遅れているアジア株式市場は他市場を上回る収益率を上げると私どもはみています。

短期的には、当四半期の上昇を受けてアジア市場で利益確定売りが起き、中国のような比較的大きな市場やIT セクターでその傾向が顕著にみられると予測しています。米連邦準備制度理事会(FRB)の議長交代や 12 月の利上げの可能性は、10-12 月において先行き不透明感を生み出すでしょう。フロンティア市場は、グローバル投資マネーの影響を比較的受けにくいことから、世界市場が弱含む局面では他市場を上回るとみています。

アジア・フロンティア株式は引き続き外国人投資家に選好されていない状況です。世界経済の成長や中国経済の安定的な伸びを背景に、アジア・フロンティア諸国の GDP 成長率は改善し、先進国市場の収益率を上回るでしょう。中国の一帶一路政策は、2017 年に北京で初めて開催された一帶一路フォーラムに加えて、数多くのインフラ向け投融資が合意されるなど、勢いを増しています。トランプ米大統領による米国第一主義の政策や、米国の環太平洋パートナーシップ協定からの離脱により、アジア・フロンティア諸国においては、中国がより先導的な役割を果たすと考えています。

お知らせ

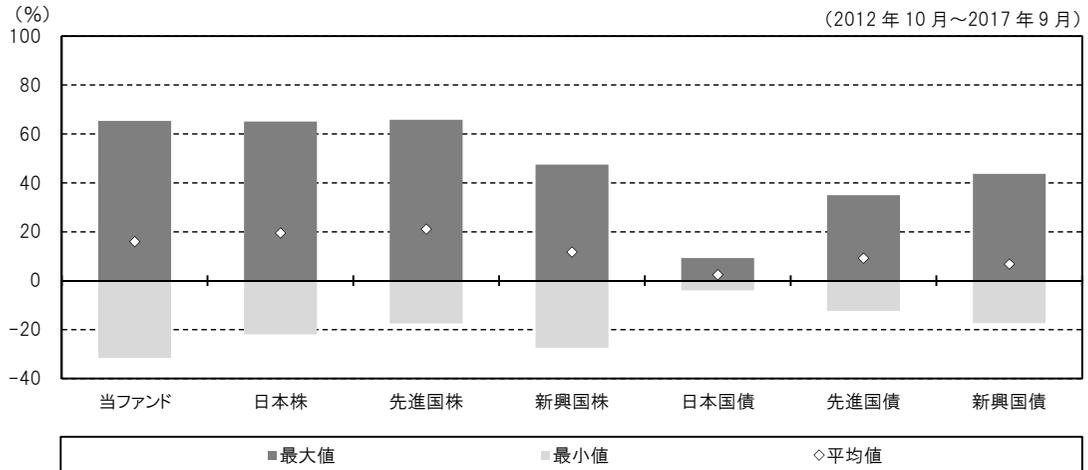
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	65.3	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 31.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	16.0	19.5	21.1	11.7	2.5	9.3	6.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2012年10月から2017年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年10月25日現在)

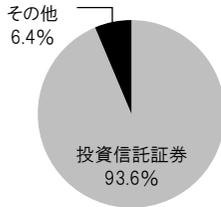
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
	%
ハーベスト・アジアフロンティア エクィティファンド クラスJ	93.6
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

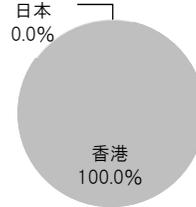
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

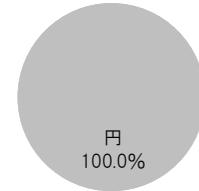
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第6期末
	2017年10月25日
純資産総額	1,984,221,114円
受益権総口数	1,477,463,158口
1万口当たり基準価額	13,430円

(注) 期中における追加設定元本額は398,547,950円、同解約元本額は329,074,485円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ

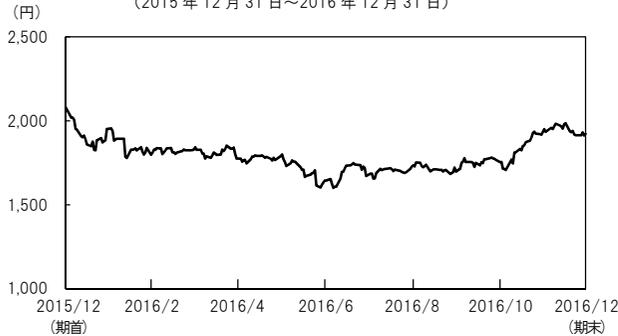
作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】

(2015年12月31日～2016年12月31日)

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。



(注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。

(注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。

(注3) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

【組入上位 10 銘柄】

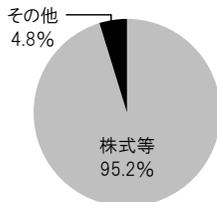
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	KAZ MINERALS PLC	素材	英国・ポンド	カザフスタン	7.70
2	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	5.31
3	BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH CO LTD	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	4.42
4	MMG LTD	素材	香港ドル	シンガポール	3.36
5	METALLURGICAL CORPORATION OF CHINA LTD	資本財	香港ドル	中国	3.35
6	CNOOC LTD	エネルギー	香港ドル	中国	3.27
7	JOHN KEELLS HOLDINGS PLC	資本財	スリランカ・ルピー	中国	3.06
8	PACIFIC BASIN SHIPPING LTD	資本財	香港ドル	スリランカ	2.95
9	LINDE BANGLADESH LTD	素材	バングラデシュ・タカ	中国	2.83
10	VALE INDONESIA TBK PT	素材	インドネシア・ルピア	インドネシア	2.66
組入銘柄数				43 銘柄	

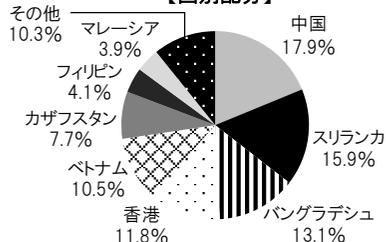
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

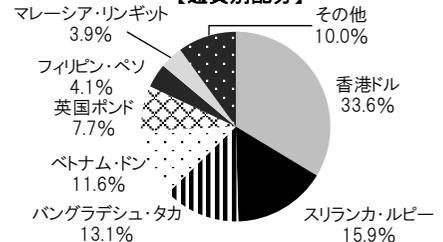
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



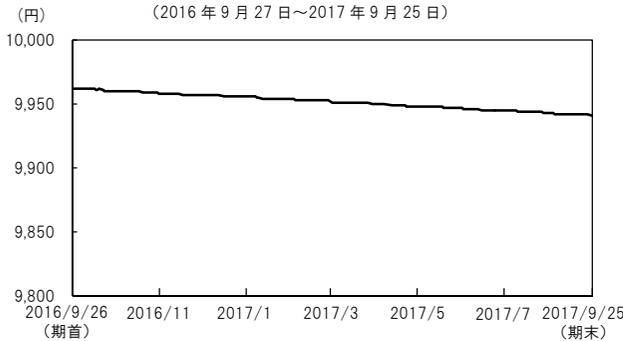
(注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2016年12月31日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年9月27日～2017年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	14 (11) (1) (2)	0.140 (0.108) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.002 (0.002) (0.001)
合 計	14	0.142

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2017年9月25日現在)

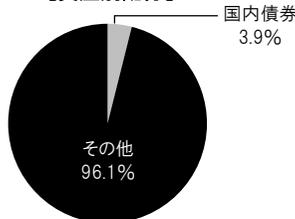
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第311回中国電力株式会社社債	日本	1.3
2 第414回中部電力株式会社社債	日本	1.3
3 第485回中部電力株式会社社債	日本	1.3
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2017年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。